所	属	清流の国推進部清流の国づくり政策課			清流の国推進部地域振興課			
係	名	地方創生係	内線	2245	地域振興係	内線	2407	

「清流の国ぎふ」の魅力づくりの促進

1 事業費 307,300(前年度 300,000)

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 5,667 補助金 300,000 一般財源 301,633 委託料 5,689

報償費 781

2 背景・事業目的

地方創生の更なる展開を図るため、県内市町村とともに「清流の国 ぎふ」の魅力づくりを一層進めていく必要がある。

このため、地域資源を活かした地域の魅力づくりやまちづくりなど、 市町村等が主体的に取り組む「清流の国ぎふ」づくりを支援する。 また、市町村や企業等とともにSDG s 推進に向けた取組みを行う。

3 事業概要

(1) 岐阜県清流の国ぎふ推進補助金(300,000 千円)

- ○清流の国ぎふづくり推進事業
 - ・地域資源を活かしたまちづくり等、創生総合戦略に基づき実施する他の市町村のモデルとなる取組み等を支援する。

新〇SDG s 推進事業

・住民や企業等のSDGsへの理解を醸成するための普及啓発事業や、SDGsの理念により、経済・社会・環境の三側面における新たな価値を創出し、持続可能な地域づくりに寄与する事業を支援する。

○地域づくり総合支援事業

・人口減少・高齢化が進む地域において、暮らしに必要な各種 サービスの提供や機能の集約・再編、人材確保などに一体的に 取り組むプロジェクトを支援する。

○市町村振興事業

・意欲的・創造的で他の市町村の模範となる先導的・個性的な 地域づくりを支援する。

新(2) SDGs推進に向けた取組みの展開(7,300千円)

市町村や企業等を巻き込んだSDGs推進のための組織を設置するほか、県民や企業等のSDGsへの理解を醸成するため、フォーラム、セミナーや地域情報誌による広報を実施する。

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (2)企画調査費 (明細書事業名) ○総合政策推進費

総合政策調整費

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (3) 地域振興対策費 (明細書事業名) ○地域活性化対策費 地域活性化推進費

所	所 属 清流の国推進部外国人活躍・共生社会推進誌			
係	名	多文化共生係	内線	3354

外国人材の活躍推進と生活環境整備

1 事 業 費 40,254(前年度 25,483)

【財源内訳】【主な使途】国庫20,103補助金19,457諸収入16委託料12,861

一般財源 20,135

2 背景·事業目的

在留資格「特定技能」の創設(平成31年4月)などを背景として、 外国人県民の一層の増加と多国籍化が見込まれることから、地域社会で 活躍し、安全・安心に暮らせる環境づくりを推進する。

3 事業概要

(1) 日本語教育機会の提供体制整備(20,413千円)

今後、更なる増加が見込まれる外国人県民に活躍いただくため、 日本語教育機会提供の体制づくりを推進する。

<具体的な施策内容>

- ・日本語教育総括コーディネーターを県庁に配置
- ・モデル日本語教室の実施
- 日本語教育人材の育成、関係機関のネットワーク化
- 「やさしい日本語」、ICT教材等の普及

(2)(公財)岐阜県国際交流センターを通じた地域の日本語教室への支援 (3.524 千円)

地域の日本語教室への専門家派遣を通じて運営体制の強化や教育内容の充実を図るほか、県内の日本語教室を紹介するホームページを作成するなど、日本語教育に関する情報発信を強化する。

(3) 岐阜県在住外国人相談センターの機能強化(16.317千円)

研修開催により相談員のスキルアップを図るほか、名古屋出入国 在留管理局との連携協定に基づく相談会を定期的に開催する。

(款) 2総務費 (項) 2企画開発費 (目) (6) 国際化推進費 (明細書事業名) ○国際交流費

多文化共生推進事業費 国際交流センター補助金

所	属	清流の国推進部地域振興課				
係	名	移住定住係 地域プロモーション係	内線	2056 2407		

UIJターンの促進と定住支援の充実

1 事 業 費 304,225(前年度 304,934)

【財源内訳】 【主な使途】

国庫 86,188 貸付金 141,120 諸収入 987 委託料 70,372 一般財源 217,050 補助金 67,050

2 背景·事業目的

人口減少・少子高齢化の進展を踏まえ、地域を担う人材の確保や定着を図るため、三大都市圏に設置した移住交流拠点での情報発信や相談対応、移住後のフォローアップを実施し、移住者受入体制を整備していく。

また、県外の大学等に進学しながらも、将来的に本県へ戻って活躍する 意欲がある学生を支援するための奨学金により、Uターンの促進を図る。

3 事業概要

(1)移住定住の促進

- ○移住交流拠点での相談対応や移住者へのフォローアップ(84,968 千円) 三大都市圏(東京・大阪・名古屋)の移住交流拠点を核として、 情報発信や相談対応、本県の魅力を紹介するセミナーやツアーを開 催する。併せて、移住者と移住定住コンシェルジュやサポーターと の交流会を開催するなど、定住のためのフォローアップを行う。
- ○東京圏からのUIJターンによる就業・起業の支援(76,050 千円) 東京圏から県内への移住希望者に対して、仕事や暮らしに必要 な情報を提供するほか、県内の中小企業等へ就業・起業した移住 者に対して、移住に要する経費を支援する。
- 〇継業を契機とした移住定住の促進(1,000千円)

商工会等と連携し、後継者不足の事業者等の情報を収集し、移住者との橋渡しを行う。また、市町村を対象に、移住者による円滑な継業を支援するための研修会を開催する。

(2) 県出身大学生等のUターンの促進

〇「清流の国ぎふ大学生等奨学金」の貸与(142,207千円)

本県を離れて県外の大学等に在学(進学)する学生に対し、県内にUターンして居住及び就業することを条件に奨学金を貸与し、卒業後5年間継続して条件を満たした場合には返還を全額免除する。

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (3) 地域振興対策費 (明細書事業名) ○地域活性化対策費 地域活性化推進費

所	属	清流の国推進部ねん	りんピッ	ク推進事務局			
係	名 総務係、企画係 内線		2962、3205				
所	属	健康福祉部保健医療語	進室	健康福祉部高齢福祉	課		
係	係 名 健康増進係 内		内線	2548	長寿社会推進係	内線	2594

生きがい・健康づくりの推進

1 事業費 1,351,666(前年度 193,163)

 【財源内訳】
 【主な使途】

 国庫
 122,254
 委託料
 37,068

 一般財源
 1,175,813
 負担金
 1,265,615

その他 53,599 補助金 25,500

2 背景•事業目的

高齢化が進展する中、県民一人ひとりが健康に対する関心や理解を深め、生涯にわたって健康増進に努めるきっかけとなるよう、全国健康福祉祭(ねんりんピック)を岐阜県で初めて開催する。

また、開催を契機として、健康寿命を伸ばすための取組みを「ねんりん運動」 と名付け、関係団体からなる「ねんりん運動推進会議」を設置し、健康の増進、 高齢者の活躍、レクリエーションを通じた生きがい・健康づくりを推進する。

3 事業概要

(1)「ねんりんピック岐阜2020」の開催(1,296,000千円)

全国から来県する選手団をオール岐阜で歓迎する総合開・閉会式を実施するほか、円滑な大会運営に向けて、配宿や交通手段の確保、全63種目の大会を運営する市町村等への支援を行う。また、大会イベントの一環として開催する文化イベントや健康フェア等を通じ、生きがい・健康づくりに関わる交流等を行う。

(2)「ねんりん運動」の推進(55,666千円)

新 Oねんりん運動推進会議の設置(5.100 千円)

ねんりん運動を推進するため、県、市町村、医療、福祉、経済等関係 団体からなる「ねんりん運動推進会議」を設置する。

また、ねんりんピック終了後、各市町村においても推進会議を設置し、 ねんりん運動の全県的な展開を進める。

新 〇健康の増進、高齢者の活躍の推進(27,433千円)

生きがい・健康づくりに取り組む市町村を支援するほか、健康づくりにおいて顕著な取組みを行う団体を表彰し、活動費を支援する。

また、高齢者の多様な社会参加ニーズにワンストップで対応する相談 窓口を設置し、高齢者の活躍を推進する。

〇レクリエーションを通じた生きがい・健康づくりの推進(23,133千円)

「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」の各圏域での開催等により、県民誰もが1つはレクリエーションに取り組む「ミナレク運動」を展開する。

(款) 2総務費 (項) 2企画開発費

(目) (4) スポーツ振興対策費

(明細書事業名) ○スポーツ振興費 地域スポーツ推進費

(款) 4衛生費 (項) 1医務費

(目)(3)健康增進対策費

(明細書事業名) ○健康づくり推進費 健康づくり運動推進費

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費

(目) (7) 老人福祉費

(明細書事業名) ○高齢者福祉総合対策費 長寿社会対策推進費 ○介護人材確保対策費 介護人材確保対策費

所	属	清流の国推進部地域スポーツ課			所	属	清流の国推進部競技スポ	ーツ課	
係:	名	スポーツ交流係	内線	2948	係	名	競技スポーツ係 障がい者スポーツ係	内線	2950 2944

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化

1 事 業 費 239, 408 (前年度 182, 443)

【財源内訳】 【主な使途】

一般財源 239,408 交付金 50,800

負担金 43,015

委託料 124,027

2 背景·事業目的

東京 2020 大会の開催に併せ、県内でスポーツへの参加意識の醸成や国際交流の 推進に向けた様々な取組みを行うことにより、地域の活性化を図る。

また、両大会への出場が有力視される本県ゆかりの選手等に対して、合宿等への参加費用の支援や科学サポート等を行う。

3 事業概要

- (1) 聖火リレー、聖火フェスティバルの実施(49.721 千円)
 - ・4月4日(土)・5日(日)に県内11市町で東京2020オリンピック聖火 リレーを実施するとともに、両日の出発・到着地でセレモニー(出発式・ セレブレーション)を開催する。
 - **新**・8月13日(木)~17日(月)に県と25の市町村で東京2020パラリンピック聖火フェスティバル(採火式・聖火ビジット・出立式)を実施する。
- (2) 海外トップアスリート事前合宿の受入れ、ホストタウン交流(53, 123 千円) 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアや岐阜メモリアルセンター等においてトップアスリートの合宿受入れを行う。また、ホストタウン相手国と人的・経済的・文化的な交流を図るとともに、県内関係首長からなるホストタウン連携会議において、事業の魅力をPRするイベントを実施する。
- 新(3) 東京 2020 大会コミュニティライブサイトの実施(65,310 千円)

県ゆかりの選手やホストタウン登録国の応援及びスポーツへの参加意識の醸成等を目的としたパブリックビューイングやステージイベント等を 開催する。

(4) オリンピックアスリート、パラリンピックアスリートの強化支援 (71,254 千円) 東京 2020 大会への出場が有力視される本県ゆかりの選手等に対して、合 宿等への参加やボディメンテナンス等に係る経費を支援するとともに、県ス ポーツ科学センター及び御嶽濁河高地トレーニングセンターにおいて科学 サポートを実施する。

(款) 2総務費 (項) 2企画開発費 (目) (4) スポーツ振興対策費 (明細書事業名) ○スポーツ振興費

トップスポーツ推進費 障害者スポーツ推進費 スポーツ交流推進費

所	属	清流の国推進部競技スポーツ	-ツ課		
17.	Ħ	競技スポーツ係	占線	2950	
係	名	障がい者スポーツ係	门旅	2944	

次世代のトップアスリートを中心とした競技力の向上

1 事業費 279,317(前年度 289,272)

【財源内訳】 【主な使途】

一般財源 279,317 交付金 10,300

補助金 18,442

委託料 235,074

2 背景·事業目的

将来、全国や世界の大会で活躍するトップアスリートの輩出に向けて、ジュニア世代や障がい者のアスリート育成・強化を図る。

また、競技団体主導によるジュニアからトップアスリートまでの一貫した育成・強化を図るため、各競技団体が行う強化活動や指導者育成等に対してメリハリのある支援を行う。

3 事業概要

(1) ジュニア選手の発掘・育成、競技力向上(76,546千円)

適性に応じた競技種目でトップアスリートを目指せるよう、運動能力の優れた小学生を発掘し、本県独自の競技体験プログラム等を実施する。

また、県内の優秀な選手を指導者として2名増員するなど、ジュニア育成 に向けた支援体制を充実する。

(2) 障がい者アスリートの育成、強化支援(36,618 千円)

全国レベルの大会での活躍が期待できる障がい者アスリート等を強化指定 し、競技活動に係る経費のほか、(一社)岐阜県障害者スポーツ協会が行う 選手・指導者育成等に係る経費を支援する。

また、県スポーツ科学センター及び御嶽濁河高地トレーニングセンターに 障がい者アスリートに対応した最新の機器を整備する。

(3) 競技団体の競技力に応じたメリハリのある支援(166.153千円)

競技団体が行う強化合宿・選抜練習会などの強化活動や、国内外から招聘する優秀な指導者による指導者育成事業等に対して、各競技団体の競技力に応じたメリハリのある支援を行う。

(款) 2総務費 (項) 2企画開発費 (目) (4) スポーツ振興対策費

(明細書事業名) ○スポーツ振興費

トップスポーツ推進費

障害者スポーツ推進費

○スポーツ施設費

スポーツ施設整備事業費

所	属	清流の国推進部地域スポーツ課			
係	名	スポーツ交流係 地域スポーツ係 冬季国体推進係	内線	2948 2953 2995	

スポーツ大会・活動を通じた地域振興

1 事業費 66,806(前年度 21,404)

【財源内訳】【主な使途】国庫2,094負担金17,944諸収入19,063補助金9,000一般財源45,649交付金27,509

2 背景·事業目的

スポーツによる交流人口の拡大や活力ある地域づくりを目的として、第10回 記念大会となる高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンや冬季国体スピードスケート 競技会を開催する。

また、誰もがスポーツに親しみ参加できる環境整備に向けて、総合型地域スポーツクラブの設立や活性化を推進する。

3 事業概要

(1) 第10回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンの開催(14,694千円)

高橋尚子氏を大会長として、岐阜メモリアルセンターを発着とする国際 ハーフマラソン大会を第10回記念大会として開催する。

(2) 冬季国体スピードスケート競技会の開催(43,112千円)

令和3年1月の第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会の開催にあたり、クリスタルパーク恵那スケート場を会場として、スピードスケート競技会を開催する。

(3) 総合型地域スポーツクラブへの支援(9.000 千円)

クラブの運営基盤安定化や活性化に向けた支援を行うほか、学校部活動と 連携した特色ある取組みやクラブ活性化に向けたモデル事業への支援を拡充 し、県民が生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境を整備する。

> (款) 2総務費 (項) 2企画開発費 (目) (4) スポーツ振興対策費 (明細書事業名) ○スポーツ振興費 スポーツ交流推進費 地域スポーツ推進費